②せたがや防災 NPO アクション

世田谷区内で様々な分野で活動しているNPO団体の集まりです。いつ起こってもおかしくない大地震等の大規模災害に備え今からネットワークを組み、いざというとき必要な情報を共有し、できるだけ有効で迅速な支援体制が組めるようにと2014年5月に結成されました。

玉川まちづくりハウスも2019年4月にこのネットワークに参加。毎月の事務局会議に出席しています。

このネットワークも会議がコロナウイルス対策でオンライン開催となりましたが、広い世田谷区で情報を共有するためにオンラインシステムの有効性を確認でき、実際の場面のためその活用を進めて行きたいと考えています。

今年度は、7月3日（土）社会福祉法人全国社会福祉協議会で、長らく各被災地のボランティアセンター支援を行い、現在はより積極的に災害支援活動を行うOffice SONOZAKI代表園崎秀治さんを迎え平時における防災・減災に向けたネットワークづくりや備えについて勉強会を開催しました。

▲園崎秀治さん

③姉妹コミュニティ

●住田町

2016年からハウスの毎月のニュースに岩手県住田町の記事を連載していた「一般社団法人邑サポート」とのつながりから「姉妹コミュニティ」の発想は生まれました。ニュース連載は中止になりましたが、タマデンMarcheの新たなつながり等、「姉妹コミュニティ」という概念は考え続けていきます。

専門性提供事業　8p

①大久手計画工房との協働事業

専門性提供事業

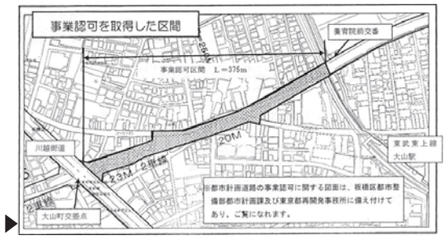
①大久手計画工房との協働事業

大久手計画工房との協働プロジェクトとして、2015年度から引き続き板橋区の「補助第26号線と沿道まちづくり相談窓口開設支援業務」に取り組んでいます。

●板橋区補助第26号線と沿道一体まちづくり相談窓口支援業務

大久手計画工房との協働プロジェクトとして2015年から取り組んでいる「補助第26号線と沿道まちづくり相談窓口開設支援業務」は今年度で7年目を迎えています。毎月一度地区内の空き家空き地の現状を地図に落とし込んでいるのですが、まちを隅々まで歩きまちの新陳代謝のようなものを肌で感じています。わたしたちのまちの住環境協議会の活動に近い部分もありますが、コミュニティとの関わりがないところが全く違うところです。

板橋区大山の26号線沿道▶



■ NPO法人玉川まちづくりハウス
運営委員長　伊藤雅春
運営委員　林泰義　平松陽一
監事　杉浦 宏嗣　戸張郁子
事務局スタッフ　小西玲子（運営委員）
池田麻未　柴田希美絵
製作　2021年12月1日

ＮＰＯ法人玉川まちづくりハウス　２０２１年度活動報告

（2020年10月～2021年9月）

〒158-0085　東京都世田谷区玉川田園調布2-11-10　TEL:03-3721-8699　FAX:03-3721-8986
http://www.tamamati.com　E-mail:house@tamamati.com

2021年度トピックス

「玉川まちフェスタ」から
「タマデンMarche」への進化

九品仏の商店街を歩く「声の記念碑」

2021年度トピックス

「玉川まちフェスタ」から「タマデンMarche」への進化

玉川まちづくりハウスの活動資金を生み出すために2004年に始まったハウスバザーは、2010年にはネットワークの広がりと共に「玉川まちフェスタ」となり、以降この地域の手作りのお祭りのように発展してきました。しかし2020年は、突然襲ってきた新型コロナウイルスによって開催を断念せざるを得ず、2021年の玉川まちフェスタも会場として提供して頂いていたデイホームが当然のことながら利用できず2年連続で中止となりました。

ハウスとしてはなんとかwithコロナの活動スタイルを模索する中で、㈲コミュニティー・ハウジングはじめ、若いメンバーと「タマデンMarche」を開催することにしました。より小規模で、より頻繁に、外部空間を活用する「玉川まちフェスタプチバザー」に活動スタイルを進化させたのです。2021年9月には、「ポケット・ブックパーク」という古本市をコミュニティー・ハウジングと協働で実施することもできました。

この活動スタイルの変化によって思わぬ出会いもありました。アートプロジェクト「旅はすみかー声の記念碑」の製作に取り組んでいた日米二組のアーティストファミリーです。彼らもコロナ禍の中、当初の計画を練り直さなくてはならなくなっていたその時「タマデンMarche」で出会いました。一方で、2013年から毎年開催していた「九品仏アートフェスタ」も中止となっていました。私たちがアートフェスタで培ってきたネットワークが役立つのではないかと思いついたことで、ある意味本格的なアートとコミュニティの出会いが実現しました。被災地の記憶から生み出された作品を持って被災地を巡るという計画を修正し、普通の街、九品仏、奥沢のまちを練り歩くというプロジェクトを加えてもらいました。

このことは、これまで継続してきた二つのイベントは中止となったもののそこで育っていた社会関係資本（ソーシャルキャピタル）が新しい形に結びついた2021年度のトピックスと言えるでしょう。

地域協働事業

お手伝い事業　2p ～
①玉川田園調布住環境協議会
②地域の福祉を考える楽多の会
③読書空間みかも
④安全・安心まちづくり
⑤ねこじゃらし公園
⑥宮本三郎記念美術館と地域の会
⑦九品仏地区社会福祉協議会

ハウス企画ネットワーク事業　3p ～
①子育て支援活動
②玉川まちフェスタ
③九品仏アートフェスタ
④いつまでも安心して暮らせる地域づくり事業
・お隣さまお茶会
・ここからカフェ九品仏
⑤駅ピアノ
⑥ハウジング＆コミュニティ財団助成事業
1) 在宅ケアを考えるシンポジウム
2) 在宅ケア相談会
3) 高齢者サロンと八幡ファーム
（八幡ファームでのお茶会）

情報発信事業　7p ～
①ハウスニュース
②ホームページ
③冊子

NPO 連携事業　7p ～
①住まい・まちづくり相談
②せたがや防災 NPO アクション
③姉妹コミュニティ／住田町

地域協働事業―世田谷区玉川地域を対象に活動しています

お手伝い事業

それぞれの活動が発足するときの支援活動を行いました。その活動を担う人材が別に現れて活動資金も別に調達し独立していくことが、ハウスの活動の特徴です。今は事務局作業の一部を支援しています。

①玉川田園調布住環境協議会・・・事務局担当

2000 年度～ 2021 年度の間に、区域内で 182 件。年平均 8 ～ 10 件程度の新築計画がありました。今年度も新型コロナウイルス感染予防対策のため総会を中止、広報「たまでん」を作成配布するだけとなりました。

協議会は、建て主、設計者、施工業者と案件ごとに協議し、近隣とのトラブル、住環境の悪化を防いできました。2021 年度（2020 年 10 月～2021 年 9 月）は 6 件の新築計画の協議があり、うち 1 件が集合住宅、他は戸建て住宅でした。

昨年度からお知らせしていたバス通りに立つ複合施設、コ・ハウジング玉川田園調布の工事も始まりました。これからは新築計画の協議だけでなく、ゴミ出しの問題、空き地・空き家の管理なども含めまちの住環境に寄与するような取り組みをしていきたいと考えています。

②地域の福祉を考える楽多の会・・・事務局担当

玉川まちづくりハウスは毎月発行のらくだ通信の編集と発行を引き受け、コロナ禍でも元気に暮らす会員のみなさんの様子をお届けしています。

20 周年の記録は今年度も持ち越しになりました。

2020 年 3 月から、主な会場だったデイ・ホーム玉川田園調布 1 階が新型コロナウイルスの影響で使用できなくなり、規模を縮小して活動せざるを得ませんでした。

健康体操は、会場を九品仏地区会館、奥沢地区会館に移して人数を少なくして実施しましたが、会場を確保することが大変な作業となり、デイホームがいかに地域にとって重要な資源であったかを感じました。

▲九品仏地区会館で健康体操風景
頭の体操　熟語しりとり

③読書空間みかも・・ハウスとの情報交換

玉川まちづくりハウスが世田谷トラストまちづくりの事業「地域共生のいえ」の一つとして運営を支援してきた「読書空間みかも」。今年度は他の活動と同じく、コロナ禍で毎週木曜日開催していた読書空間タイムはお休み、百人一首の会も半年以上、好評だった一箱古本市も２，４，６，８月は中止でした。しかし新しいメンバーを迎え運営について、ZOOM 会議を開催とのこと。新年度の活動を注目します。

Twitter
【読書空間みかも】@dokusyo_mikamo
【読書空間みかもイベント】@mikamoyotei

3) 高齢者サロンと八幡ファーム

ハウジング＆コミュニティ財団の助成事業として始まった高齢者サロンは、藤田医院との共催で今年度も継続しています。この活動もステイコミュニティのコンセプトの下、コロナ禍でも休むことなく継続開催。緊急事態宣言が明けた 10 月には今までで最も多い 12 名の参加者が集まりました。オンライン併用の試みも始まり参加者の多様性も広がっています。今後は運営委員も参加者から募り運営の自律性も高めていきたいと考えています。高齢者サロンは玉川まちづくりハウス初期の頃に試みていたおしゃべりハウスの活動を思い起こさせるような『場』となっています。

ハウジング＆コミュニティ財団
住まいとコミュニティづくり活動助成
2020 年度助成　780,000 円
（2020 年 4 月～ 2021 年 3 月活動分）

高齢者サロンのお茶会会場だった八幡小学校菜園、八幡ファームはわたしたちのまちの貴重な地域資源の一つだと思うのですが、まだ活かしきれていないと感じます。玉川田園調布会と八幡小学校の理解と協力を得つつ可能性を探っていきたいと考えています。

情報発信事業

①ハウスニュース

毎月月末に会員向けニュース「みんなでホイッ！」を発行しています。ニュースではハウスの活動を随時紹介しています。

昨年度から始まった「地域 gayagaya」のコーナーには、会員竹内夫妻の大きな協力により、多彩な地元の方々からの寄稿を得て紙面が充実してきました。新たな紙面づくりにいっそう取り組みたいと考えています。

②ホームページ　HP: http://www.tamamati.com　Twitter: @tamamatihouse

ブログとツイッターで地域講座の日程などすぐにお知らせしたい情報を、リアルタイムでお伝えしています。イベントの詳細など随時掲載しています。ぜひ遊びにきてください。

HP　Twitter

③冊子

継続して作成していた「地域の魅力発見マガジン」の作成は、コロナ禍で見送りましたが、ハウジング＆コミュニティ財団の助成金で地元で活動する福祉関係者の集まりである、「在宅ケアを語る会」の活動 20 周年誌を作成し、発行しました。

NPO 連携事業

①世田谷区住まいまちづくり相談

「住まいまちづくり住宅相談ネットワーク」は世田谷区の相談事業「住宅まちづくり総合相談」を担当する 3 つの NPO 法人で作っている団体です。住まいの困った！をまちづくりに関わる建築士としてアドバイスしていくことを目的にしています。

世田谷区 5 支所と三軒茶屋の 6 カ所で月 2 回ずつ開催され、玉川まちづくりハウスは主に玉川地域と三軒茶屋を担当しています。

隣地間のトラブル、工事の際の業者との話し合いの進め方、また予め知っておいた方がいいことはなにか？についての相談が多く見受けられます。

●「ここからカフェ九品仏」

2018年4月、ここからカフェ自由が丘として始めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり中断し、2020年7月から会場を変え「ここからカフェ九品仏」として再開しています。

心の不調を抱える方々のための地域での拠点を作っていこうという目的のため、世田谷区の保健所の支援を受けています。

コロナ禍の中、九品仏浄眞寺散策、ボードゲーム、コラージュ等、多彩なプログラムで心と体を動かし、ホッとするひとときを提供しています。

▲3月　九品仏浄眞寺歴史探訪

⑤駅ピアノ

まだ行き先が決まらないまま田園調布のピアノ調律センターに預かってもらっています。どこかで「街ピアノ」として復活する日を待っています。どなたかよいアイデアはないでしょうか？

▲7月　こどもたちもともにボードゲーム

⑥ハウジング＆コミュニティ財団助成事業

1) 在宅ケアを考えるシンポジウムの開催

2月20日（土）19：30～　在宅支援シンポジウム「住み慣れた地域で最後まで暮らすために」を「地域の中で死んでいくための男性高齢者の地域活動支援プロジェクト」の※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)勉強会としてオンライン方式で開催しました。3人の話題提供者がそれぞれの立場から話をしました。

1.「地域で母を看取る」伊藤雅春（玉川まちづくりハウス）
2.「自宅での最後の日々について」佐伯正和（ヒューマン・ケア）
3.「在宅医療に何ができるか」藤田和丸（藤田医院）

在宅ケアの場合どこまで看られるのかという問題提起と、多くの人が自宅に出入りするということに対する家族の負担を指摘する声がありました。

専門家ばかりではなくご近所の参加者を中心に比較的じっくり意見交換することができたことが成果ではないかと考えます。

※　ACP
(アドバンス・ケア・プランニング)
将来の人生をどのように生活をして、どのような医療や介護を受けて最期を迎えるかを計画して、ご自身の考えを心づもりとしてご家族や近しい人、医療やケアの担当者とあらかじめ表しておく取り組み。
愛称として「人生会議」と呼ぶ。
環境や体調の変化により、繰り返して話し合いを行うプロセスでもある。

2) 在宅ケア相談会開催

3月21日（日）、デイ・ホーム玉川田園調布の1階講座室をお借りし、「在宅ケア相談会」を開催しました。

目的

①「在宅ケアを語る会」の存在と活動内容を地域の方に知って頂きたい
②玉川まちづくりハウスがテーマとしている地域のまちづくり活動と地域の医療福祉活動を担う専門家のネットワーク活動の連携を生み出していきたい。

内容

1. 最新福祉用具お試し会　2. ここが聞きたい在宅ケア　3. 暮らしの保健室

しかし当日は春の嵐のような天候で来場者が少なく、多くの専門職の方に休みを返上して参加していただいたのに、もったいない企画になってしまいました。あんしんすこやかセンターにも協力をお願いし広報を進めたのですが、本当に困っている地域住民、そのご家族とのつながりがまだまだできていなかった、個々の家族が直面する課題を福祉コミュニティにとどまらない地域コミュニティとして受け止めていくという方向性に間違いはないと思うのですが、そのためにはもっと工夫と多様なアプローチが必要なのだろうと思います。

④安全・安心まちづくり（防犯パトロール）

●防犯パトロール隊の活動を通してまちに関わる

2021年度の防犯パトロール隊のシンポジウムは、2020年11月にウィズコロナ時代のコミュニティ防災を考える－『変わる避難所の在り方と課題』と2021年3月に防犯パトロール隊活動の輪－『防犯エンジニアリングから健康エンジニアリングへ』をいずれもオンラインで開催しました。避難所運営訓練もコロナ禍で2年ほど開催されていませんが、いつのまにか避難所の役割も大きく変わりつつあるようです。第二回のシンポジウムでは防犯パトロール隊の初代隊長の前田さんのお話を改めてお聞きすることができました。加えてオンラインならではの参加しやすさもあり周辺地区やいくつかの事業所の方とのネットワークを再確認することが出来ました。

▲オンライン開催のシンポジウムの様子

⑤ねこじゃらし公園・・・活動参加

ワークショップ形式でデザインされた公園として日本でも先駆けのねこじゃらし公園。27年を経た今もグループねこじゃらしにより管理と清掃が続けられています。

しかし市民活動にはおきまりの「次世代にどう継続するか」が課題です。株立ちの桜やナンキンハゼ、木々も寿命を迎え植え替えられました。

⑥『宮本三郎記念美術館と地域の会』

今年度もコロナ禍でいちども開催されませんでした。
多彩なゲストをお招きして話していただく、この地域ならではの「人ひろば」再開できるよう祈念いたします。

(C) 宮本和義

⑦九品仏地区社会福祉協議会　マップ事業

●安心安全マップ／お出かけ支援マップづくりを支援しています。

九品仏地区社会福祉協議会マップ委員会作成のマップ作りを手伝いました。保育施設、コンビニ、情報は日々変わります。更新作業の重要性を痛感しています。

ハウス企画ネットワーク事業

まちづくりに関する住民活動のネットワークを形成、支援する事業

①子育て支援活動

●２拠点で活動を続けています

奥沢7丁目のねこじゃらし公園と奥沢1丁目の奥沢公園におもちゃを持ち込んであそびの基地を作り、子どもの外遊びを推進する「世田谷区自然体験遊び場づくり事業」を行っています。

今年度はコロナ禍、開催中止や、小、中学校の予定も次々変わっていく中でスタッフの予定もつかず、苦労しました。子供たちの外遊びは今後ますます重要になっていくと思います。　スタッフの確保が課題です。

2021年度助成金　403,348円

■ねこじゃらし公園
東京都世田谷区奥沢7-46-5
■タイヤ公園（奥沢公園）
東京都世田谷区奥沢1-19-2

②玉川まちフェスタ

●玉川まちフェスタからプチバザー、タマデン Marche へ

毎年５月に開催してきた玉川まちフェスタは、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた結果、新しい形【タマデン Marche】へとスタイルを進化させることになりました。(1p 参照)

規模は小さくなりましたが、外出がしにくくなった状況下で、青空のもと交流の場ができたのはむしろ喜ばれたと感じています。

初回は 2020 年９月 21 日（月・祝)。ハウスのプチバザーの他にも、田園調布のパン屋さんのサンドイッチ、焼き菓子、コロンビアの美味しいコーヒーなど飲食も充実。通りがかりに寄ってくださる方がたくさんいて大盛況でした。

以降 2020 年 10/25、12/5、2021 年 2/21、3/28、4/25、5/23、7/25、9/21 とほぼ月１回開催。継続することで新しい形での地域での居場所づくりが見えてきました。

2021 年 9/19(日) は、趣向を変え本をテーマにポケット BOOKPARK と名付けて、出店者各自が店主となる小さな古本市を開催、これも新たな出会いを生み好評でした。

次年度も複数の団体と月１程度の開催を考えていきます。

地域の絆連携活性化補助金
2021 年度　250,000 円

●九品仏アートフェスタ

残念ながら新型コロナ感染症の影響を受け九品仏アートフェスタ 2020 の開催は断念しました。

しかし、これまで８回継続して開催し来た際に築いてきたネットワークが生かされ、思いがけない展開を生みました。(1p 参照)

日米友好基金主催の「2020 日米芸術家交換プログラム」に「旅はすみか」というプロジェクトで参加のアメリカ人夫婦が、偶然、玉川田園調布に居住し、そしてタマデン Marche でハウスメンバーと出会ったことから、アートで街を元気にするという九品仏アートフェスタの目的をあらためて考えることができました。

予期せぬ本格的アートが突然現れた時コミュニティには何ができるか。

コロナ禍、当初の被災地の記憶から生み出された作品を持って被災地を巡るという、それまでの計画を練り直さなくてはならなくなっていた彼らに、普通の街、九品仏、奥沢のまちを練り歩くというプロジェクトを加えてもらいました。

鏡に周辺の風景が映し出され、声が聞こえてくる不思議な「声の記念碑」、撮影スタッフや、インタビュアーもいて街行く人たちは最初は「何が起こっているの？」という表情でしたが、そのうち、インタビューに積極的に答えてくださる方もいて、まちにアートが来る、あらわれるということが少し体感できた気がしました。

東日本大震災から１０年。

主催：日米友好基金、　全米芸術基金　共催：公益財団法人国際文化会館
協力：文化庁、世田谷区、世田谷美術館
助成：公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京、
朝日新聞文化財団、　米日財団

④いつまでも安心して暮らせる地域づくり

「自分の住む街での暮らしの課題を自ら解決していけるようにしたい」

災害や家族の病気など、いざというとき歩いて行ける範囲で、助け合ったり、情報を交換できたり、また、美味しい食事や、音楽や芸術など楽しめる、身近な街での暮らしを豊かにするための活動が玉川まちづくりハウスのミッションです。地域で安心していける場所、居場所を作ること、新型コロナウイルスの問題が起こってからは、一層その思いを強くしています。

玉川まちフェスタも、九品仏浄眞寺参道での九品仏アートフェスタも地域での居場所づくりの一貫、身近な小さな集まりとして、「お隣さまお茶会」、「ここからカフェ九品仏」があります。

●『お隣さまお茶会』

スペースえんがわ inn をお借りして活動しているお茶会も、コロナ禍で中止を判断せざるを得ないときもありましたが、なくしてしまうことがかえって、常連の方々のほっとする場所を奪ってしまうことにもつながるのではと、対策をとりつつ継続しました。

身近な地域での暮らしがますます大切な社会になっていくと思います。

６月　小さなフラワーアレンジメント

2021 年度年間スケジュール

＊そのほか運営委員会、ニュースレターの発行、世田谷区の住宅相談などを毎月行っています。

2020 10	11	12	2021 1	2	3	4	5	6	7	8	9
お隣さまお茶会 vol.61 10/12	お隣さまお茶会 vol.62 11/9	お隣さまお茶会 vol.63 12/14	お隣さまお茶会 vol.64 1/18	お隣さまお茶会 vol.65 2/8	お隣さまお茶会 vol.66 3/8	お隣さまお茶会 vol.67 4/12	お隣さまお茶会 中止	お隣さまお茶会 vol.69 6/14	お隣さまお茶会 vol.70 7/12		お隣さまお茶会 vol.71 9/13
プレーリヤカー ねこじゃらし10/13,27	プレーリヤカー 11/10 ねこじゃらし	プレーリヤカー ねこじゃらし 12/8	プレーリヤカー ねこじゃらし 1/12	プレーリヤカー ねこじゃらし 2/9	プレーリヤカー ねこじゃらし 3/9	プレーリヤカー ねこじゃらし 4/13	プレーリヤカー ねこじゃらし 中止	プレーリヤカー ねこじゃらし 中止	プレーリヤカー ねこじゃらし 7/13		プレーリヤカー 9/14,28
プレーリヤカー タイヤ公園 10/22	プレーリヤカータイヤ公園 11/5,12,26	プレーリヤカー タイヤ公園 12/10,24	プレーリヤカー タイヤ公園 1/21	プレーリヤカー タイヤ公園 2/4	プレーリヤカー タイヤ公園 3/11	プレーリヤカー タイヤ公園 4/8	プレーリヤカー タイヤ公園 中止	プレーリヤカー タイヤ公園 中止	プレーリヤカー タイヤ公園 7/15,20		プレーリヤカー タイヤ公園 中止
ここからカフェ vol.31 10/24	ここからカフェ vol.32 11/28	ここからカフェ vol.33 12/26	ここからカフェ vol.34 1/23	ここからカフェ vol.35 2/27	ここからカフェ vol.36 3/27	ここからカフェ vol.37 4/24	ここからカフェ vol.38 中止	ここからカフェ vol.39 中止	ここからカフェ vol.40 7/24	ここからカフェ vol.41 中止	ここからカフェ vol.42 中止
せたがや防災 NPO アクション 10/13	せたがや防災 NPO アクション 11/7	★ハウス総会 12/11	せたがや防災 NPO アクション 1/12		せたがや防災 NPO アクション 3/16	せたがや防災 NPO アクション 4/13		せたがや防災 NPO アクション 6/8	せたがや防災 NPO アクション 7/3		せたがや防災 NPO アクション 9/14
★プチバザー 10/25		★プチバザー 12/5		★プチバザー 2/21	★プチバザー 3/28	★プチバザー 4/25	★プチバザー 5/23		★プチバザー 7/25		★タマデン Marche 9/19
						★住環境協議会総会 中止					
						高齢者サロン 4/4	高齢者サロン 5/9	高齢者サロン 6/13	高齢者サロン 7/11	高齢者サロン 8/8	高齢者サロン 9/12